



山科区シンボルマーク

新たな「山科区基本計画」の策定に向けて
～山科区の未来を見据えた地域課題について～

平成21年3月
京都市山科区役所

はじめに

山科区では、平成23年から10年間を計画期間とする新たな「山科区基本計画」を策定します。その取組の一つとして、今回、山科区の各学区・団体の皆さんに、山科区の未来を見据えた地域課題などについて抽出していただきました。

本冊子は、その思いを分かりやすくまとめたものとなっています。

各学区・団体の皆さんからいただいた山科区の地域課題などにつきましては、新たな「山科区基本計画」を策定するうえでの参考とさせていただきます。

目次

1. 新たな「山科区基本計画」の策定に向けた取組について

- (1) 背景 1
- (2) 新たな「山科区基本計画」の策定に向けた取組
- (3) 山科区の未来を見据えた地域課題の抽出方法
- (4) 計画策定までの流れ

2. 山科区の未来を見据えた地域課題について

- (1) 現行「山科区基本計画」に沿った課題 3
- (2) 各学区・団体別の課題

3. 山科区の将来像について

- (1) まちの魅力・観光 25
- (2) 都市基盤の整備
- (3) 地域の活性化

参考資料

- 合同会議での意見 27

1. 新たな「山科区基本計画」の策定に向けた取組について

(1) 背景

山科区においては、平成13年1月に21世紀の山科区の将来像を示した「山科区基本計画（山科区フロンティア計画）」を策定し、区民の皆さんとのパートナーシップの下、計画の着実な推進を図ってきました。

現行「山科区基本計画」は、平成22年12月までを計画期間としており、今後は計画期間終了に伴い、新たな「山科区基本計画」を策定し、区民の皆さんと共に、区の個性を活かした魅力あふれるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

(2) 新たな「山科区基本計画」の策定に向けた取組

新たな「山科区基本計画」の策定に当たっては、より一層の区民参加を図るため、地域の将来像を共有するとともに、課題の抽出、課題解決に向けた自主的な取組について議論することとしました。そこで、「山科区基本計画」の策定に向けて、次の手法により山科区の未来を見据えた地域課題を抽出しました。

(3) 山科区の未来を見据えた地域課題の抽出方法

「山科区基本計画」の策定に向けて、13学区自治連合会と女性、老人、若者や福祉関係、文化・産業・観光を代表する団体から成る合同会議を設置し、学区や各活動の視点で議論いただくとともに、区内のあらゆる地域、分野を網羅した課題の抽出を行いました。

(参考)

- ・地域別：13学区自治連合会

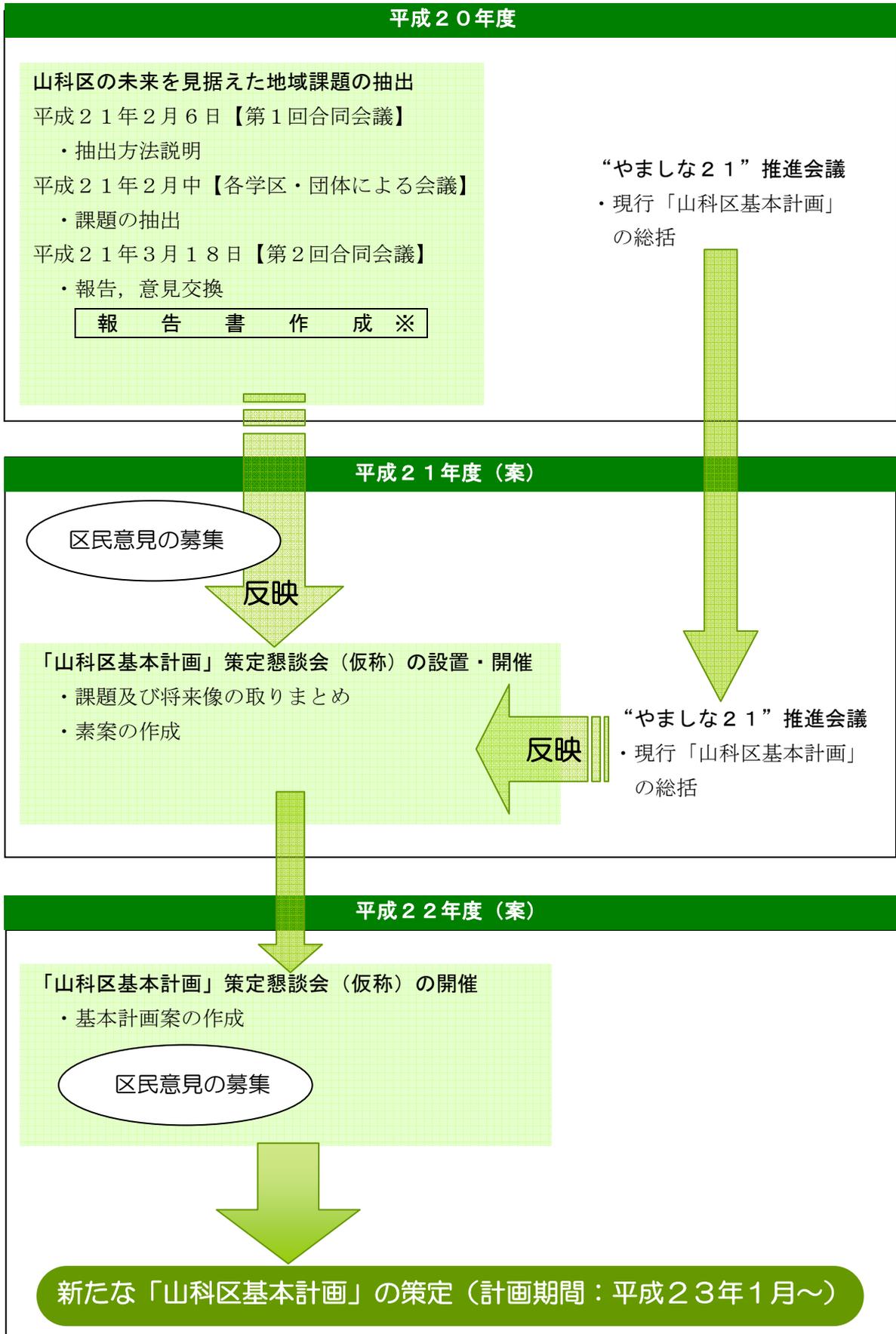


出典；平成17年国勢統計区より

- ・分野別：山科区地域女性連合会，山科区老人クラブ連合会，山科区社会福祉協議会，山科経済同友会，おこしやす“やましな”協議会，京都橘大学学生

(4) 計画策定までの流れ

平成22年中の計画策定を目指して、次のとおり取組を展開していきます。



※ 合同会議において共有した地域課題などをそのまま掲載しています。

2. 山科区の未来を見据えた地域課題について

(1) 現行「山科区基本計画」に沿った課題

現行「山科区基本計画」の五つの分野（「Ⅰ 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進」、
「Ⅱ すべての人にやさしいまちづくりの推進」、
「Ⅲ 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進」、
「Ⅳ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進」、
「Ⅴ 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進」）に沿って、各学区・団体内で協議のうえ、課題があると思われる項目を挙げていただきました。各項目において、課題があると思われた学区・団体数については、次の表のとおりです。

分野	項目	19学区・団体中の数
Ⅰ 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進	(1) 学校や企業などによる環境教育が不足しているなど、環境保全活動の基盤が整っていない	4
	(2) ごみの減量化やリサイクル活動が不足している	6
	(3) ごみの不法投棄や散乱ごみが多く、自然・歴史資源を含めたまちの美化活動が不足している	8
	(4) 防災対策における区民・事業者・行政の役割が不明確で、連携が取れていない	5
	(5) 地域住民に密着した自主防災会などの活動が不十分で、各種団体との連携が取れていない	4
	(6) 河川や水路の整備など、災害に備えた都市基盤が整っていない	2
	(7) 水道・ガス・電気などのライフラインの安定供給や、災害発生時の応急対策が不十分	1
	(8) 犯罪や事故が多く、生活安全の取組や、各種団体の連携が不十分	3
Ⅱ すべての人にやさしいまちづくりの推進	(9) すべての人の人権が尊重されているとは言えず、自己実現や社会参加を支援する取組や啓発活動が不足している	1
	(10) 福祉活動や各種団体の連携、ユニバーサルデザインを導入した都市環境の整備が不十分	2
	(11) 介護サービス基盤や地域活動への参加など、高齢者が生きがいを持って暮らせる環境が整っていない	4
	(12) 障害のある人の各種在宅サービスや自立生活を支援する施設の整備、就労支援などの取組が不十分	3
	(13) 保護者や子どものための子育て支援や地域での子育て支援が不足している	3
	(14) 学校・家庭・地域が連携した子育てや教育活動が不足している	2
	(15) 地域医療の各種団体の連携や適切な応急手当ができる区民の育成などによる地域医療体制が不十分	2
	(16) 地域のボランティア団体の連携やその活動が不足している	2

分野	項目	19学区・ 団体中の数
Ⅲ 水と緑と 歴史に彩 られたま ちづくり の推進	(17) 公園や緑地などの整備が不十分	5
	(18) 山や川などの自然環境や農地の保全・活用のための取組が不足している	1
	(19) 河川周辺の緑化や植樹、遊歩道などの環境整備が不十分	6
	(20) 寺社や旧街道などの歴史資源の保全、その歴史や文化などを学び体験する取組が不足している	5
Ⅳ 活気と魅 力にあふ れるまち づくりの 推進	(21) 区内幹線道路の再編整備が不十分	6
	(22) 小型低床バスの導入や住宅市街地内の通過交通、放置自転車対策などの交通体系の整備が不十分	6
	(23) 山科駅などの再開発や各地域ごとのまちづくりに対する取組が不足している	4
	(24) 幹線道路沿道での都市的景観の形成や、広告物の規制などの取組が不足している	2
	(25) 新しいモデル的まちづくりや、農地・工業用地などの市街地環境に配慮した土地利用が不十分	2
	(26) 地域にある自然・歴史資源や伝統産業の観光活用に対する取組が不足している	4
	(27) 環境やエコロジー問題などに関する国家的施設や研究機関の誘致による山科地域の情報発信が不十分	2
Ⅴ 心ゆたか な暮らし をおくれ るまちづ くりの推 進	(28) 区民の健康増進やスポーツ活動の支援が不足している	2
	(29) 図書館や生涯学習センターなどによる活動や、大学と区民による地域振興などの取組が不足している	3
	(30) 自治会や町内会などの地域コミュニティの活動やその支援が不足している	4
	(31) 区民のNPO活動やその支援が不足している	2
	(32) 様々な情報通信インフラを活用した地域情報の発信や緊急時の情報発信などの機能整備が不十分	2
	(33) 市役所、区役所などの行政機関によるサービス機能が不十分	3

(2) 各学区・団体別の課題

① 勸修学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- **ごみ減量化への一層の努力が必要**
ごみ袋の有料化などで減量化が進んでいるが、更に生ごみの肥料化・乾燥化などの取組が必要。
- **ごみの不法投棄への対策が必要**
山科川や旧安祥寺川沿いに自転車やペットボトルなどの不法投棄が目立ち、観光客に対してのイメージも悪くまちの美化活動が必要。
- **地域住民に密着した自主防災会などの活動や各種団体との連携が必要**
地域の防災組織において、役員の任期が短いので防災の専門員が育たず、組織体制の強化や地元住民の防災意識の向上が図れないという課題があり、対策が必要。また、各種団体との情報交換や連携が必要。

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- **小学校における校則の制定、徳育などの子どもの育成が必要**
学校・家庭・地域が連携し、人としての規範に力点を置いた子どもの教育が必要。
- **地域活動の支援者の増強が必要**
地域活動の構成員には様々な団体役員を兼任している場合が多く、また、高齢化している。後継者の加入も少ない中、地域活動の支援者を増やすための方策が必要。

その他の課題

- **下水道の整備が必要**
山科川・旧安祥寺川において、生活排水の放流が見られ、子どもたちが安心して遊べる美しい川になるよう下水道整備を早期に図ることが必要。

② 山階学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- **ごみの不法投棄対策のための監視強化が必要**
河川へのごみの不法投棄が非常に多く、監視強化策の検討が必要。
- **防災対策における行政・各団体・地元住民の役割や行動内容の明確化が必要**
行政・各団体・地元住民の役割や行動内容を明確化し、それぞれが連携を図る。また、必要な備品などの整備が必要。

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- **高齢者支援の基盤整備が必要**
高齢者への支援者不足や資金面における課題解決に向けた具体的な取組が必要。

III 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- **河川周辺の維持管理策の検討が必要**
河川周辺の維持管理策を検討し、環境整備を図ることが必要。

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- **渋谷街道の整備が必要**
歩行者や自転車の通行量が多い渋谷街道扇橋交差点中心の北・南・西行き道路の道路拡幅の整備が必要。

V 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- **地域コミュニティ活動の拠点が必要**
自治連、各種団体などが地域活動のために活用できる総合拠点の設置が必要。

その他の課題

- **ゆたかな環境づくりに障害となる各事項のルールづくりや啓蒙が必要**
自転車の二人乗りや無灯の注意、ごみの不法投棄の監視など、地域が中心に実施する活動に一定の権限（資格）を与えるなどの施策が必要。

③ 鏡山学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- 学校や地域が連携した環境教育が必要
児童向けの体験学習の場をつくり、学校だけでなく地域を巻き込んだ環境教育が必要。
- リサイクル活動の取組が必要
使用済み蛍光灯の再利用などのリサイクル活動が必要。
- 国道1号線周辺のまちの美化活動の推進が必要
国道1号線周辺の不法投棄や散乱ごみが多く、まちの美化活動の徹底が必要。

V 心豊かな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- 図書館や生涯学習センターなどによる活動や、大学と区民による地域振興などの取組が必要

④ 音羽学区



Ⅱ すべての人にやさしいまちづくりの推進

- 高齢者支援の専門スタッフの充足が必要
高齢者への支援活動が遅れているため、専門スタッフの充足が必要。

Ⅲ 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- 憩える空間づくりが必要
公園の不足を補うため、住民が管理する空地利用の取組を推進するなど、憩えるまちづくりを目指すことが必要。

Ⅳ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- 小金塚地域の道路移管整備が必要
住民生活の根幹となる小金塚地域の私道の京都市への移管が早期に必要。
- 小型低床バスの導入や住宅市街地内の通過交通、放置自転車対策などの交通体系の整備が必要
- 都市景観の形成、広告物の規制の取組が必要

その他の課題

- 京阪四宮駅近辺商店街の活性化が必要
交通アクセス、無電柱化などの基盤整備、生活に密着した医療施設や商業施設などの開発を含めたまちづくり計画の策定が必要。
- よい「みち」、都市の美の整備が必要
農道を利用、拡幅した無秩序な道路が多く、デザイン化された、歩いて楽しい道路の整備が必要。
- 山科独自の都市景観づくりが必要
勾配屋根のない建物を取り入れたり、建物や道のデザインに山科で統一した色彩を取り入れるなどの統一的なまちづくりが必要。
- 山科の歴史遺産を最大限に活かす取組が必要
観光客だけでなく、区民にも山科を知ってもらうための歴史遺産を巡るコース、観光マップや案内板、標識の整備などが必要。
- 多世代同居住宅への助成が必要
住民の定着率を上げ、人口減少の防止施策として同居世帯住宅への助成が必要。

⑤ 安朱学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- ごみの減量化やリサイクル活動が必要
ごみの分別は進んだが、総量の減量化への取組が必要。
- JR 山科駅におけるまちの美化活動の取組が必要
JR 山科駅は行楽や通過者が持ち込むごみに加え、煙草やガムのポイ捨ても多く、対策が必要。

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- JR 連絡通路北側スロープの車いすに対応した道路の整備が必要
- 学区内にデイサービス施設を設置するなどの基盤整備が必要
- 児童館を増設するなどの子育て支援が必要
- AED 設置箇所の拡充が必要

III 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- 東山自然緑地の整備が必要
東山自然緑地における桜の植替えなどの整備，改良が必要。
- 安祥寺川周辺の環境整備が必要
安祥寺川沿い（東大津畑地区旧三条街道から四ツ塚線の間）の整備が必要。
- 旧三条街道において解説碑を設置するなど，歴史資源の保全や活用の取組が必要

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- **幹線道路の再編整備が必要**
災害対策として安祥寺道の JR トンネルなどの整備や、旧三条街道の拡幅、無電柱化などの整備が必要。
- **通過交通や交通体系の整備が必要**
山科駅前の放置自転車への対策及び区内の全路線において小型低床バスに統一する取組が必要。
- **山科駅など再開発のまちづくりの取組が必要**
再開発地区と既在地との整合性が必要。山科駅ロータリーへの車両進入の規制が必要。
- **電柱ビラや立看板が多く規制が必要**
- **観光案内所の整備が必要**

V 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- **安朱小学校体育館の建替えが必要**
小学校の体育館が狭く老朽化しており、緊急時の避難施設として対応するためにも建替えなどの施設整備が必要。
- **山科図書館の読書スペースの拡充が必要**
- **アスニー山科の利用サービスの拡充が必要**
アスニー山科の施設の利用料金や利用枠の設定などにおける地元住民への利用サービス拡充が必要。
- **単身高齢者の実態の把握が必要**
- **行政機関によるサービス機能の向上が必要**
区役所窓口における混雑時の待ち時間の短縮が必要。

⑥ 陵ヶ岡学区



Ⅲ 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- **陵ヶ岡みどりの径緑道の整備が必要**
清掃活動の効率化と日没後の照明の点灯を通じた地域の活性化のため、草刈り機やイルミネーション用の電源を整備するなどの取組が必要。
- **東山自然緑地の整備が必要**
東山自然緑地において、桜の老樹の若返り対策と若木の植樹などの整備が必要。
- **旧三条街道の整備が必要**
天智天皇山科陵の参道入口から西へ三条通に合流する間の旧三条街道において案内板が少なく、観光客などの史跡巡りのための「道しるべ」となる道標や案内板などの整備が必要。

Ⅳ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- **バス路線の新設などによる整備が必要**
陵ヶ岡学区並びに山科区北西部の観光名所巡りや地域住民の生活利便性の向上を図るため、三条通、大石道、渋谷街道、外環状線などを回遊する小型バス路線を新設するなどの取組が必要。

⑦ 大宅学区



その他の課題

● 自治会への加入促進策が必要

マンションに入居している世帯の自治会への加入の勧誘策の検討が必要。

⑧ 山階南学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- 学区において環境教育の取組に格差が見られ、是正が必要
- 廃食用油の回収を徹底し、活動の地域間格差の是正が必要
- ごみの不法投棄や散乱ごみが多く、自然、歴史資源を含めたまちの美化活動が必要
- 防災に対する地域住民の認識が不足しており、防災意識の向上が必要
- 地域住民に密着した自主防災活動や各種団体との連携が必要
- 河川や水路の整備など災害に備えた都市基盤の整備が必要
- 水道・ガス・電気などのライフラインの安定供給や災害発生時の応急対策が必要
- 生活安全の取組の強化や警察との連携が必要

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- 保護者や子どものための子育て支援や地域での子育て支援の改革と促進が必要
- 学校・家庭・地域の連携した子育てや教育活動の改革と促進が必要
- 地域医療の各種団体の連携や適切な応急手当ができる区民の育成などによる地域医療体制の整備などの改革と促進が必要

III 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- 山科川における環境整備が必要
山科川において左岸だけでなく右岸についても関係機関と協働した遊歩道などの環境整備が必要。
- 寺社や旧街道などの歴史資源の保全、その歴史や文化などを学び体験する取組が必要

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- 区内幹線道路の再編整備が必要
- 小型低床バスの導入や住宅市街地内の通過交通、放置自転車対策などの交通体系の整備が必要
- 新しいモデル的まちづくりや、農地・工業用地などの市街地環境に配慮した土地利用が必要
- 地域にある自然・歴史資源や伝統産業の観光活用が必要
自然・歴史資源の整備などにより、既存の資源を守り、活用する取組が必要。

V 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- 区民のNPO活動やその支援が必要
- 様々な情報通信インフラを活用した地域情報の発信や緊急時の情報発信などの機能整備が必要
- 行政機関の人的削減が行われた場合のサービス機能の維持及び充足が必要

その他の課題

- 地震対策の取組が必要
密集した古い木造家屋が多く、火災などの二次災害が起こった場合、道路の幅員も狭く、消防車が通れないなどの課題への対策が必要。

⑨ 百々学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- **ごみの不法投棄や散乱ごみが多く、まちの美化活動が必要**

学区内に山林が多く不法投棄が見られ、清掃ボランティアも活動しているが、更なるまちの美化活動が必要。

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- **高齢者の支援活動に従事する人員の確保などによる基盤整備が必要**

独居高齢者宅への昼食配食サービスなどの利用が増えるなか、配達人のボランティアが不足しているため、啓発などの対策が必要。

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- **新十条通の高速道路開通に伴う幹線道路の再編整備が必要**

大石街道や新大石街道などと交差する新十条通の高速道路周辺の道路整備が必要。

- **バス路線の新設などによる交通体系の整備が必要**

勧修学区や百々学区の地域から京都駅行きなどのバス路線の新設が必要。

⑩ 大塚学区



その他の課題

- 自治会への加入促進策が必要
自治会への加入率が減少傾向にあり，勧誘策の検討が必要。

⑪ 小野学区



その他の課題

● 自治会への加入促進策が必要

学区人口は増加している一方で、自治会への加入率が減少傾向にあり、住民が積極的に参加してくれるような自治会活動の推進が必要。また、災害発生時の活動主体としても、地域の関係の強化が必要。

⑫ 音羽川学区



I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- 関係機関と連携した環境教育が必要

山科まち美化事務所や音羽川保健協議会が協力して小学校で環境教育の授業を実施したが、毎年一度、環境教育を全学年で実施できるような体制づくりが必要。

- まちの美化活動の推進が必要

プラスチックごみの回収を午前中にするなどの対策が必要。

- 防災対策における取組内容の統一、各学区との連携が必要

防災訓練の内容が13学区で統一されていない現状であり、学区の枠を越えて連携するための山科区全体としてのマニュアル作りが必要。

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- 新十条通の高速道路開通に伴う幹線道路の再編整備が必要

新十条通の高速道路において、大阪から京都市中心部を結ぶ第二京阪への接続が完了したときの交通量の予測とその対策が必要。

V 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- 行政機関の連携強化が必要

区役所、福祉事務所及び保健所の連携、また、他の行政機関との共通認識を持ち、連携したサービスの提供が必要。

その他の課題

- 教職員の適正配置が必要

教職員の男女比率が女性80%と偏っており、比率を50%ずつにすることが必要。

⑬ 西野学区



その他の課題

- 集合住宅の町内会未加入への対策が必要
集合住宅の建設の際、市が認可する前に自治連合会に紹介するなどの対策が必要。

⑭ 山科区地域女性連合会

I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- **ごみの減量化の対策が必要**

レジ袋削減のために買い物袋を持参するように求めるなどのごみの減量化に向けた啓蒙活動が必要。

その他の課題

- **公共施設への駐輪場の整備が必要**

⑮ 山科区老人クラブ連合会

その他の課題

- **山科中心部の道路整備が必要**

山科中心部は道幅が狭い道路が多いうえに、交通量も多く危険であり、対策が必要。

- **超高齢化社会の「絆文化」の再構築が必要**

高齢者の安全や生活上の見守り、サークル活動などの生きがい創出のサポートシステムが必要。

- **高齢者が地域に貢献できる環境の創出が必要**

高齢者の活動支援、地域ガイド養成などの取組が必要。

- **歩いて暮らせる素敵なまちづくりの推進**

ユニバーサルデザインによる整備、「山科を歩こう運動」の展開、案内標識や公衆トイレの整備などまちづくりの基盤整備が必要。

- **在宅高齢者サポートへの取組が必要**

在宅高齢者の見守り、相談、交流促進体制などのサポートが必要。

I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- 防災対策における区民・事業者・行政との連携が必要
区民・事業者・行政の役割を明確化し、災害時のそれぞれの行動マニュアルの策定が必要。
- 災害時の要配慮者支援の理解を広げる啓発、研修活動が必要
町単位あるいはマンション単位など、身近な範囲で、災害時の要配慮者支援の理解を広げる啓発、研修活動が必要。

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- 地域での子育て支援の推進が必要
「おやこDEフェスタ」などの地域の子育て事業の定着及び各地域での子育て事業ネットワークづくりが必要。
- 地域のボランティア団体の連携が必要
地域ボランティア団体の活動などの現状把握と連携づくりの推進が必要。

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- 地域ごとのまちづくりの拠点の整備が必要
地域ごとのニーズを把握し、求められているまちづくりに必要な拠点の整備が必要。

V 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- 自治会や町内会などの地域コミュニティの活動やその支援が必要
学区社協活動のアンテナ役となる自治会、町内会の福祉委員やボランティアがやりがいを感じ、いきいきと活動していけるよう学区の持ち味を生かしながら活動の活性化に取り組むことが必要。

その他の課題

- 活動の担い手育成が必要
地域住民による活動の担い手の高齢化、一部の人への負担増などの課題解決が必要。

⑰ 山科経済同友会

I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- **ゼロエミッションの推進が必要**
ゼロエミッションの推進に向けた実践事業や地域住民、企業の意識向上のための講演会などの実施が必要。
- **生活安全における「山科防犯協会」と連携・協力した取組が必要**

III 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- **「山科花いっぱい運動」の推進が必要**
- **山科を花で飾るための事業の推進が必要**
区内に植栽花壇を整備し、年間を通じて花で飾る事業の推進が必要。
- **寺社や旧街道などの歴史資源の保全、その歴史や文化などを学び体験する取組の支援が必要**
山科商店振興会による「歴史探訪ウォーキングラリー」の支援と「おこしやす“やましな”協議会」との協力が必要。

IV 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- **地域ごとのまちづくりの取組が必要**
「山科花いっぱい運動」の展開や各種団体への人的・経済的協力が必要。
- **自然・歴史資源と伝統産業の観光活用が必要**
「おこしやす“やましな”協議会」の事業や「山科区フラワーロード推進事業」に対する人的協力及び「山科義士まつり」への助成が必要。

⑱ おこしやす“やましな”協議会

その他の課題

- **地域一体となった継続的な観光客誘致などが必要**
幅広い団体が連携し、区民と一体となって、特に若者も巻き込みながら実施する継続的な観光客誘致の取組が必要。

I 安全で快適に暮らせるまちづくりの推進

- **ごみの減量化やリサイクル活動の推進が必要**
スーパーなどのプラスチックや紙パック回収 BOX の分かりやすい場所への設置など、リサイクル活動の促進が必要。
- **河川の美化活動の取組が必要**
- **防災対策について認知度向上のための取組が必要**
- **東山自然緑地における遊歩道や草木などの整備が必要**
- **犯罪や事故が多く、生活安全の取組が必要**
生活安全のため、不審者対策、街灯や歩道の整備が必要

II すべての人にやさしいまちづくりの推進

- **ユニバーサルデザインを導入した都市環境整備が必要**
- **高齢者が安全に歩ける歩道の整備が必要**
- **障害者に配慮したバリアフリーや交通体系の整備が必要**
飲食店などにおけるバリアフリー化の推進、交通アクセスが良くない地域への対策が必要。

III 水と緑と歴史に彩られたまちづくりの推進

- **公園や緑地などの整備が必要**
道路沿いにある公園が多く安全性の面での対策が必要。
公園がある地域とない地域の格差の是正が必要。
- **山、河川の管理の徹底、保全・活用の取組が必要**
- **歩きやすい遊歩道の整備が必要**
- **区民が山科の歴史を学ぶための取組や文化・歴史に触れる施設が必要**

Ⅳ 活気と魅力にあふれるまちづくりの推進

- **交通体系の整備が必要**
地下鉄や京阪バスでも通らない交通が不便な場所への対策が必要。
- **山科全体でのまちづくりの取組及び住民の積極的な参加が必要**
- **学生が地域で憩えるようなまちづくりが必要**
学生が利用する店が山科駅周辺や国道沿いに偏っており、環境整備が必要。
- **自然・歴史資源の観光活用が必要**
自然・歴史資源がある場所が分かりにくく、交通アクセスの不便の解消、周辺環境の整備などの対策が必要。
- **環境・エコロジー問題などに関する国家的施設や研究機関の誘致による山科地域の情報発信の取組が必要**

Ⅴ 心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

- **スポーツ施設の場所やサービスなどの認知度が低く、情報発信が必要**
- **大学の取組について認知度が低く、住民への十分な情報発信が必要**
- **自治会や町内会などの地域コミュニティの活動の活性化が必要**

その他の課題

- **山科駅周辺に賑わいが偏っている**
学生が利用する柳辻駅周辺に飲食店やアミューズメント施設などが少ない。
- **街灯が少ない**
- **国道1号線（東野駅周辺）の歩道橋の整備が必要**

3. 山科区の将来像について

各学区・団体の皆さんから実現性に関係なく挙げていただいた、「山科区をこんなまちにしたい」、「山科区のこういったものがあつたらいいな」といった夢や、次の世代につなげていきたいまちの魅力など、まちづくりに対する思いをまとめました。

(1) まちの魅力・観光

ま ち の 魅 力	○ 旧三条街道の「江戸時代の賑い」の再現	電柱の地中化，車石の敷設などによる「路」の再開発を進める。
	○ 疏水のミュージアム・ロード構想	疏水沿いに彫刻などの作品を設置し，ミュージアム・ロードにする。
	○ フィルム・ライブラリーなどの施設整備	見たい映画がいつでも見られる「フィルム・ライブラリー」のような施設を設ける。
	○ 山科を舞台とした百人一首の歌碑の建立	百人一首の中には，山科を舞台とした歌が7首収められており，それぞれの歌碑を設置し，山科地域の情報発信を図る。
	○ 京都刑務所移転に伴う，環境，エコロジー問題に配慮した総合的研究施設，農業公園などの誘致	京都刑務所の移転を進め，太陽光発電，風力発電，循環型肥料の活用などを取り入れた国家的施設や研究機関を誘致する。
観 光	○ JR山科駅をスタートとする京都東部地区観光回廊の開発	乗り降り自由の小型低床バスを活用し，観光回廊を開発する。 〔経路(案)〕JR山科駅→醍醐→宇治→天ヶ瀬→石山→三井寺・近江神宮→JR山科駅
	○ 山科観光資料館などの設置	歴史，産業，生活などの分野の関連資料をまとめた資料館を設ける。
	○ 各種団体が参画する合同会議などによる連携強化	広域観光推進委員会，老ク，商店街などによる合同会議などを開催する。
	○ 多機能大型観光施設の整備	大型バスの駐車場，食事ができる場所，土産物の物販店，トイレなどが集積された，観光客のための施設を設ける。
	○ 観光案内所の常設	常設の観光案内所を山科駅前に設置する。
	○ 駅及び観光地間をつなぐ循環バス路線の整備	駅，観光地間の移動の不便を解消した観光地循環バスを設ける。

(2) 都市基盤の整備

公共交通	○ 京阪御陵別所駅の新設	京阪電鉄（京津線）における御陵別所駅を新設する。
	○ JR東山トンネル西出口（東山東大路）駅，東出口（花山）駅，小金塚（西藤尾）駅の3駅の新設	JR軌道を借用して京都駅一大津駅の間2両編成のシャトル電車を運行する。
	○ 阪急電鉄延長	阪急河原町駅から祇園駅，五条大石駅（山科区）などを新設してJR瀬田駅まで延長する。
	○ くるり200又はシャトルバスの路線拡大	渋谷街道を中心にバス路線を拡大し，山科駅方面に連絡する。

(3) 地域の活性化

地域活動	○ 東部文化会館を中心とした山科発文化の振興	東部文化会館自主企画によるコンサートや，能，狂言の古典芸能を上演するなど，山科発文化の振興に取り組む。
	○ 山科13学区総合体育祭の開催	
	○ 山科区情報を掲載した「区民手帳」の発行	山科区の情報（行政，観光，防災など）を網羅した「区民手帳」を発行する。
	○ ふれあいの場の創設	あらゆる年代の人が集まるコミュニティセンターなどのふれあいの場を設ける。
	○ 地域住民との協働による山科独自の活動の展開	学生も協力して行っている「陶器まつり」といった山科独自の活動を生かした地域住民を広く巻き込んだまちづくりを展開し，山科独自の活動に取り組む。

参考資料

○ 合同会議での意見

平成21年3月18日、山科区の未来を見据えた地域課題についての意見交換を目的に、各学区・団体の皆さんに集まっていただき、第2回合同会議を開催しました。同会議でいただいた御意見を「まちの魅力・観光」、「都市基盤の整備」、「地域の活性化」という3つのテーマにまとめました。

【まちの魅力・観光について】

- 山科駅前には通勤や行楽で持ち込むごみが多い割には、ゴミ箱が少ない。ゴミ箱を増やすか「捨てない」ための取組が必要である。
- 観光については、地下鉄などの交通機関を利用したり徒歩で観光したりする場合は良いが、大型バスでの観光が増え狭い道を通行すると、住民生活の妨げとなる可能性がある。
- 区内でも様々な観光振興の取組が行われているが、もともとは地域住民のための行事なので、観光事業として取り上げて人を集客するのも限界がある。山科区全体にとっての観光客誘致の効果などを考慮して事業を展開していく必要がある。

【都市基盤の整備について】

- 小金塚地域ではまちづくりの計画を策定しており、課題は防犯と福祉、交通面であると感じている。大津などと連携したバス路線が必要である。
- 山科は住宅地なので、住む人にとってより良いまちづくりを目指すことが大切である。
- 山科駅だけでなく、その周辺地域にも拡大して交通アクセスを改善してほしい。

【地域の活性化について】

- 短期の居住者が増えて、町内会への未加入が増えると、地域自治活動に与える影響は大きいので、新設のマンション建設などの話がある際は、行政は地域に情報を提供するとともに、意思疎通を図ることができるよう仲介役として積極的に働きかけてほしい。
- 地域の各種団体は、地域の行事やボランティア活動によって行政の手が届かないところを穴埋めしており、地域への活性化に取り組んでいるが、新しく来た人の地域活動への関心は低い。地域の人的基盤が揺らいでおり、関係が希薄化しつつある。
- 大学と地域が連携してまちづくりに取り組むことが大切で、課題に対して具体的にどう取り組むか、学生の視点からも考えてほしい。例えば、「学生通り」といったメインストリートを設けて活性化に取り組むなど、若い学生の力を活かしてほしい。また、開発することが良いわけではなく、メリット・デメリットについて考える必要がある。
- 防災に関して言えば、住民の意識は高いが、防災訓練も現在実施している訓練の内容に加えて、災害発生時に住民がまず何をすべきなのか、何が必要なのかを周知徹底させるような住民のための防災訓練が必要であると考えます。
- 学校教育に関して、子どもを教え、育てるうえで、教員には男性、女性それぞれの役割があり、子どもに大きな影響力を持っていると考えているので、教員の男女差の是正が必要である。また、地域と連携し、学校と地域が行事に積極的に参加することにより、地域社会や自然に対する感謝の気持ちなどを育む必要がある。

新たな「山科区基本計画」の策定に向けた合同会議メンバー

学区・団体名
勸修学区自治連合会
山階学区自治連合会
鏡山学区自治連合会
音羽学区自治連合会
安朱学区自治連合会
陵ヶ岡学区自治連合会
大宅学区自治連合会
山階南学区自治連合会
百々学区自治連合会
大塚学区自治連合会
小野学区自治連合会
音羽川学区自治連合会
西野学区自治連合会
山科区地域女性連合会
山科区老人クラブ連合会
山科区社会福祉協議会
山科経済同友会
おこしやす“やましな”協議会
京都橘大学学生

編集・発行 京都市山科区役所

〒607-8511 京都市山科区柳辻池尻町 14-2
区民部総務課企画広報担当

TEL:075-592-3066 FAX:075-502-1639

平成21年3月